

量子技術の実用化推進ワーキンググループについて（案）

令和 4 年 10 月〇日

量子技術イノベーション会議

1. イノベーション政策強化推進のための有識者会議「量子技術イノベーション」（量子技術イノベーション会議）の下、「量子未来社会ビジョン」（令和 4 年 4 月 22 日 統合イノベーション戦略推進会議）において示された未来社会ビジョンや、未来社会ビジョンに向けた 2030 年に目指すべき状況の実現への道筋（量子技術の実用化のために必要な取組、産学官の連携の在り方等）について検討するため、「量子技術の実用化推進ワーキンググループ」（以下「実用化推進 WG」という。）を設置する。
2. 実用化推進 WG に主査及び主査代理を置く。主査及び主査代理、構成員は、別紙のとおりとする。なお、要すれば、主査代理が主査の担務を代行する。
3. 実用化推進 WG は原則として非公開とする。
4. 主査は、実用化推進 WG における審議の内容等を、議事録等の公表その他の適当な方法により公表する。ただし、主査が審議の内容等を公表しないことが適当であるとしたときは、その全部又は一部を非公表とすることができる。
5. 実用化推進 WG の庶務は、関係行政機関の協力を得て、内閣府において処理する。
6. 前各項に掲げるもののほか、実用化推進 WG の運営に関する事項その他必要な事項は、主査が定める。

- 主査 伊藤 公平 慶應義塾塾長
- 主査代理 岡田 俊輔 一般社団法人量子技術による新産業創出協議会実行委員長
(株式会社東芝執行役上席常務)
- 川畑 史郎 国立研究開発法人産業技術総合研究所
新原理コンピューティング研究センター副研究センター長
- 佐藤 信太郎 富士通株式会社量子コンピューティング研究センター長
- 嶋田 義皓 国立研究開発法人 科学技術振興機構フェロー
- 鈴木 教洋 株式会社日立製作所執行役常務CTO兼研究開発グループ長
- 寒川 哲臣 日本電信電話株式会社先端技術総合研究所
基礎・先端研究プリンシパル
- 松岡 智代 株式会社QunaSysCOO
- 山田 昭雄 日本電気株式会社執行役員
- 萬 伸一 国立研究開発法人理化学研究所
量子コンピュータ研究センター副センター長